

<p>事業名</p>	<p>新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成 「支えあう多様なコミュニティづくり」事業 プレ報告会報告書</p>
<p>開催日時</p>	<p>2023年 2月 5日(日) 13:30~17:00</p>
<p>会場</p>	<p>熊本 YMCA</p>
<p>目的</p>	<p>・本助成にかかわるすべての人にとってよりよい最終審査会とするために、実行団体が1年事業の報告(取り組みや成果・課題)をするとともに、各実行団体への質問やフィードバックを通して、各団体の発表をブラッシュアップする。</p> <p>・各申請団体がお互いに質問し合うことで、団体同士の関係性を育み、今後の連携・協働へつなげる。</p>
<p>参加団体</p>	<p>グループ①NPO 法人せいしとらんし熊本／子育てネットワーク「縁側 moyai」／子ども支援活動ボランティアグループ ゆめの絆∞わらびがみ(童神)</p> <p>グループ②NPO 法人 NEXTEP／株式会社 南阿蘇ケアサービス／一般社団法人フミダス</p> <p>グループ③一般社団法人オルタナ／「やっちろ保健室」運営協議会／一般社団法人 sol</p> <p>／ワールドフレンズ天草</p> <p>参加人数:会場 31名・オンライン 3名 合計 34名</p> <p>※会場では検温・体調チェック表記入済</p>
<p>PO・アドバイザー</p>	<p>プログラムオフィサー:河合 将生・中村賢次郎・宮原美智子</p>
<p>スタッフ</p>	<p>中村賢次郎・宮原美智子・小田川望・本多清美・久保 智絵美・小笠原 晟一</p>
<p>内容</p>	<p>13:30~13:40 あいさつ(熊本 YMCA 中村) 今日のねらい等(宮原)</p> <p>□実行団体発表内容(動画3分くらいを含めて)</p> <p>(1)団体・助成事業を取り組むことになった経緯(短く)</p> <p>(2)助成事業終了時の目標</p> <p>(3)取り組んだこと</p> <p>(4)目標の達成度や成果</p> <p>(5)助成事業で成長したこと・変化したこと</p> <p>(6)今後の方向性</p> <p>(7)相談したいこと・お手伝いいただきたいこと</p> <p>13:40~13:55 発表1 一社)オルタナ(100年ボン)</p> <p>13:55~14:10 発表2 ワールドフレンズ天草</p> <p>14:10~14:25 発表3 一社)sol</p> <p>14:25~14:40 発表4 株)南阿蘇ケアサービス</p>

	<p>14:40～14:55 発表 5 NPO 法人 NEXTEP</p> <p>14:55～15:05 休憩 10 分</p> <p>15:05～15:20 発表 6 (一社)フミダス</p> <p>15:20～15:35 発表 7 NPO 法人せいしとらんし熊本</p> <p>15:35～15:50 発表 8 やっちろ保健室運営協議会(一社)看護のココロ)</p> <p>15:50～16:05 発表 9 子育てネットワーク縁側 moyai</p> <p>16:05～16:20 発表 10 子ども支援活動ボランティアグループゆめの絆∞わらびかみ(童心)</p> <p>16:20～16:40 河合さんからのフィードバック&評価について</p> <p>16:40～16:50 最終報告会に向けたアナウンス等(10 分)</p>
<p>発表者からの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が足りなかった。動画は発表資料の中に埋め込んでしっかり説明に活用したいと思った。 ・ほかの皆さんの発表を聞いて、(スライドは)できるだけ 20 文字くらいにしたいと思った。 ・スライドは楽しく作ったつもりだが、発表順が早く自分が緊張してしまい、まじめに進めてしまった。時間が短いのもうちょっと要点をまとめないと、全体的な流れが皆さんに伝わらないなと思った。 ・自分はあまり緊張しなかった。皆さんの発表を聞いて、自分の住んでいる地域にも居場所ができたらいいなと思った。 ・就職して 2 年目で、今日は代表の代わりに発表をしてとても緊張した。しかし、発表資料や発表の中で、自分の団体らしさを出せたらいいなと思った。 ・いよいよもう少しということで緊張しながら発表した。動画は改善が必要かなと思った。時間が短かったのでポイントだけ説明したが、本当にそれで伝えたいことが伝わったのかということが反省点。 ・じつは動画を差し替えていて、(出てきたのが)それじゃなかったのでキツとした。本番はもっと工夫していきたい。 ・限られた時間の中で、何を伝えたいのかまとめ切っていない状態で話したので、しっかり絞らなくてはいけなかった。本番は初めて聞かれる方が多いということを前提にしたほうが良さそうなので、難しいと思う。もう少し悩みます。 ・8 分はなかなか短くて、まだ全部は入れられていない部分がある。宮原さんからの宿題だった、組織の作り方という部分、キーマンから広げていった話なども最終報告には入れ込んだうえで、次は代表が発表する予定なのでうまく思う。 ・昨日の 3 時にいったん提出したが、不出来だったため寝ずに資料を作成した。団体内で話し合いをせずに作ってしまったので、この資料に対してもメンバーがそれぞれ思ってくれていることもあると思うので、最終発表にはそういう意見を吸い取って上手に反映させて発表できればと思っている。 ・動画を流すときにコメント入れたほうがいいのかと思って入れてしまったが、zoom だと動画に声が入ると聞き取りにくいので、動画の時には声は入れないようにしようと思う。動画も長かったので、受益者さんの声やささえびとさんの声をメインに改善したい。 ・8 分の中に入れ込むときに、今日は団体のことを知っている方たちばかりだったのでよかったが、知らない方に説明するような内容が動画や説明の中にも入っていないので、どういうことをしている団体で、何を目指しているのかということと、なぜそれをやりたいのか動画や資料に入れ込みたいと思った。作戦会議をしながら、どういうことがやりたい団体かを盛り込みたいと思った。 ・自分たちも情報量が多すぎて、もうちょっと絞らないといけないところ。しかし、何をやっているか知らない人に知ってもらうとなると、この情報を出したくなってしまうので、そこをすっきりさせたい。各団体の素敵な動画をたくさん見せていただいたので参考にしながら、3 月 5 日にはがらっと変えた動画と資料にしたいと思う。

<p>河合さんからのフィードバック</p>	<p>・最終報告会での報告だけでなく、完了報告書にもまとめることになるので、そこに向けての評価のポイント。全体として情報がとても多いので、聞く側としては消化不良になりそう。全部を伝えることが果たしているのかどうか考えてほしい。何を伝えたいのか選択することも必要。</p> <p>・事業実施後の目標について再確認。</p> <p>①様々な問題を抱えた子どもや若者やその家族、被災者などが安心して自分らしく過ごせる居場所が地域や色々な場所にできている。</p> <p>②日常生活に困難や問題を抱える子どもや若者たちなど、必要とする人たちが、相談・支援を受けられる体制ができ、県内に広がりつつある。</p> <p>③実行団体の運営基盤と連携が強化されることにより、地域の課題解決に柔軟に対応できる体制ができつつある。</p> <p>また、助成事業全体の目標についても確認。</p> <p>1. 実行団体が掲げた目標について、事業終了後に達成することで、受益者の状況が改善している。</p> <p>2. 伴走支援を通して、団体の目標や課題に沿って基盤強化・資金調達力・問題解決力などが改善している。</p> <p>3. 災害やクライシスなどに対応できる連携体制が実行団体・資金分配団体間でできている。</p> <p>この3点は聞きたいところといえる。やってみてできなかったが、今後こういう体制が必要というような気づきなどもあっていい。このほか、コミュニティづくりがテーマなので、各分野や地域での連携体制がコミュニティとして、またこの事業を通して団体同士生まれた連携などもコミュニティにつながると感じている。</p> <p>⇒各団体への個別のフィードバックは資料で後日送付</p> <p>発表を見て感じたこと。誰に伝えたいのか、伝えたい相手を思い描きながら作る。要素としては3要素必要。一つ目は事業の背景やニーズ、必要性や目標。ここでまず事業自体を把握してもらおう。特に必要性和目標は押さえてほしい。次に右脳と左脳の要素。今日の発表は左脳寄りだったという印象。</p> <p>左脳は数字や理屈、論理的な説明や図解などの要素。右脳は気持ちや感情など。左脳と右脳を行き来してもらいながら両方に訴えかけるような資料が、いろんなタイプの人に伝わりやすいのではないかな。</p> <p>左脳的な部分で言うと、評価の観点としては、妥当性、有効性、インパクト、効率性、持続性の要素が入っていること。やっていることの価値を言語化するというのも成果となる。</p> <p>右脳的な部分は受益者や関係者の思い・状況や人のパッション、姿、苦勞、喜びなど。動画は右脳的。なのでそこあまり説明入らないし、声がたくさんあるのもいいが、一つにフォーカスを当ててみるというのでも伝わりやすくなることもある。右脳の重要な要素として、事業の成果もあるが、やっているあなたの苦勞が聞きたい、というのもある。パッションの部分を知りたいというのがある。</p> <p>成果報告会なので、成果の部分を知りたいとなる。そのために抑えたいポイントとしては、前提(事業の理解)スタート地点も必要で、成果ばかりが強調されると最初はどっだったのかということが気になってくる。変化の幅を伝えるためにも、最初の状態を伝えてほしい。それから成果、変化など。そこにさらに加えられるといいと思うのが、アウトカムの部分。やっていることがどんな意味があったのかという話。</p> <p>結果だけでなく、やったことで社会にどんな意義や価値をもたらすものだったのか。1年の事業なので主にアウトプットの部分が求められるが、アウトカムの部分もプラスされるとさらに良い。</p>
<p>参加者からのメッセージ(抜粋)</p>	<p>【オルタナ】</p> <p>●発表について</p> <p>スライドがわかりやすく事業から派生したこともよく分かりました。</p> <p>写真等がもっと多いほうがわかりやすいのかなと思いました。</p>

動画が少し時間オーバーだったので、全体の時間の配分を少し調整されてください。
コミュニティー農園の整備が動画で一目でわかり、事業の進捗状況が分かりやすかった。
動画のボリュームが大きくてアナウンスが聞きづらかったのがもったいないと思いました。

●活動について

畑や場所の確保はどのように行ってこられたのですか？

カフェの様子がとても素敵でした。

相談支援者の活動も気になりました。

相談支援者さんとしてどんな方がおられるのか紹介があっても素敵だなと思いました。

生きるを支援するということに共感できました。(感動)私たちも同じ思いでした。

シェアハウス開設のきっかけとなった3人の方を「困った人」と表現していたのが気になった。「困ってる人」の方が良いと思う。活動しながらさまざまに広がっているのが素敵です。

事業に付随したものでしっかり形にされているのが凄いと感じます。熱意を感じました。

事業中に新しいプロジェクトを3つできたと言う事はすごいなと思う。急激に活動が広がりスタッフや運営は間に合っていますか？

良い意味で、動きながら事業内容を変えたり新たに呼び出したり流動的なことがすごくニーズに寄り添っている気がする。

福祉的な関心を持って「つながっていくこと」が普通に生きるエネルギーや楽しいことに発展していくことをイメージや価値観として広げていってほしい。

今回の授業を行う中で必要だと思ったことを次々と実現されていて凄いなと思いました。地域との密着具合が素晴らしい！！

複数のものを1つにまとめるのではなく、ウェブのように複数それぞれがつながるのも楽しそう！

「コミュニティーの言語化」がわかりやすかった。

地域に合った取り組みが良かった。助けを必要としている人の把握。

コミュニティー農園と相談支援者の養成について、「地域の力」のまとめとそれを60手前に岡村重夫先生がおっしゃっていた言葉に着地するのは理屈や納得感が高まると感じられた。

【ワールドフレンズ天草】

●発表について

スライド作りがとても上手で今後の方向性も分かりやすかったと思います。

動画がとても良い！ストーリーがわかりやすい。テロップ等がかわいい&面白かった。

動画もわかりやすく、支援者の感想があるのがイメージしやすく素敵です。また皆さんで話し合っ活動がされているのが伝わります。

動画とても感動しました！途中の参加者さんのコメント、音声も、伝わりやすく良かったと思います！

双方向の声があるのが良かった。動画で、これまでの苦労が分かり、共感できた。

動画はストーリー(ドキュメンタリー)仕立てで引き込まれました。ソフト面の動画では、実際の「声」がいいですね。

●活動について

拠点探って大変でしたね。共感できる場所が多かったです。

外国の方も住みやすい地域となるような、それを支援し育成する場となると思います。

拠点の維持はサポーターを募ったらどうですか？

空き家は行政と連携することが大切。居住者のサポートをする仕組みを作る。

たくさんの試練の中であきらめず物件を探し続け、やっと現実化したドラマは胸が熱くなりました。

支援員養成講座で参加された方のボラ活動ができていてよかった。

支援サポーター。多くの方が関わっていけるような事業化に期待しています。ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

巻き込む力が素晴らしい。行政とのつながり今後の展開が楽しみです。

次年度につながる事業も立ち上がっていてすごい。

地域の方とも連携し事業拡大に取り組まれている様子は私たちも今後大いに参考にしたい部分で、またぜひお話を伺いたいと思いました。

情報共有の活動は、貴重だと思います。県内各地でも同じように悩んでいる地域があります。活動が広がって共有できればいいですね。知人にも紹介しておきます。

人吉市で、国交省の助成事業で主に台湾の研修生を対象に介護技術の研修施設を作ろうとしている法人があります。ぜひ連携してください。

地域の人の協力(物品、寄贈)が居場所を作るプロセスで得られたのも参加の舞台を作ってくれたという事業のアウトプットとしても良いと思います。

●協力してほしいことへのメッセージ(簡単なオンラインの方法について)

LINE のビデオ電話を使う。また、オンラインの操作を説明するイベントを開く。

ズームのほか、LINE ビデオ通話は？LINE でグループを作って URL をタップしたら簡単に集まれませんか。

通信費や参加人数等を考えると zoom or LINE ビデオ通話が最適ではないでしょうか。

zoom の配信を拠点で行うようにし、慣れた人がサポートに入るようにすればどうか。

【sol】

●発表について

発表時間ぴったりですばらしいです。

文字が見えにくいスライドがあったので修正されたら良いかもしれません。

レジュメの(3)取り組んだ事に列挙した記載と写真中心のスライドの 2 つの見せ方が良い。

(5)成果・変化で団体内部の意識変化が分かりやすく示されています。

熊谷さんの報告も素晴らしかったです。

スライドの文字が少し小さいかな。

部屋が明るかったので白文字より、黒文字の方が見やすそうです。

動画のクオリティー・ユーモア・インパクト・らしさが出て面白く見ることができました。個性あふれる演出で楽しく拝見しました。釘付けになりました。

動画の作り込み、導入が素敵。声を紹介しているのが良い。

協力者が増えていく様子がよくわかってよかった。

ごちゃまぜの場になったと言われる過程も見えて分かりやすかったです。

動画面白いです！！ →でも、著作権、大丈夫ですか？

動画の意味が分かりづらかった。

●活動について

サポーター制度により様々な方が集いつながる場所になっていると感じました。

サポーター制度のアイデアが良い。助けを求める、協力する。うまく発揮される。

このような“ごちゃまぜの場”が各地域にあるといいなと思いました。

利用者は無料ですか？維持管理費はどのように捻出されていますか？

活動団体のメンバーだけでなく、多くの地域の人との関わりの中で取り組まれていて、スタッフも参加者も楽しそうです。その本人のやりがいにもつながるのかなと感じました。

気軽にコミュニケーションが取れる居場所はきっと成功すると思います。

ロケーション抜群ですね。こういう場所に、地域内外の方、特に「外」からのつながりが深められたらいいなと思いました。

すでに常連さんがいるようで居心地の良い場所になっているのだなと感じた。

【南阿蘇ケアサービス】

●発表について

音楽と説明が重なり、話が半分しかわからなかった。

動画のボリュームが大きくてアナウンスが聞こえづらかったのがもったいない。

発表者の声が聞きやすいが少し単調だった。

データの分析(動画で成果が)わかりやすくよかった。

活動の達成度をきちんと量的にとらえられていていいと思った。

動画に説明を入れるのであれば、BGMにしたほうが良い。取り組んだこと、たまごと鳥の意味を入れたほうがわかりやすかったと思う。

表やグラフ、イラストを多様されていてわかりやすい発表だった。

「シームレスケア」の言葉が印象的だった。その目標に対して何がどのくらい出来たか、スライドで具体的によくわかる(左脳な説明)とともに、右脳な要素(声や思い、ストーリー)はもう少し多くあってもいいかなと感じました。この事業に取り組んだことが、団体内にどんな変化をもたらされたかも。

BGMが大きすぎて頭に入らない。そもそもBGMは必要なのか？

発表資料がわかりやすく、古澤さんの声が大きくスピードも聞き取りやすかった。

●活動について

拠点が無い時期があったからこそ見えてきた点というのは学びがあった。

運動を続けた人としていない人の違いや変化が見える化できると、参加者が増えそうだと感じた。

参加しやすい雰囲気づくりを醸成されているので、居場所としてはいい方向性だなと思った。

親と子が分かれる形でのイベント開催とても参考にいなります。今後も地域を巻き込んで活動していけたらいいですね。

参加者が多い。周知やボラなどで参加しやすい場であったのだろう、年齢層も幅広い。場所もプラスに活用することでつながりができている。次年度へつながっている。内容のアイデアもいい。

そもそも「自分の住んでいる地域が好きかどうか」を確認できてよかったと思う。それを聞くことが地域に関心を向ける一番の問いかも。

いろいろなWSやイベントがとても楽しそう。参加者の年齢層も幅広く、たくさんの方を巻き込んでいてすごい。参考にさせてください。

ワンコイン卵の仕組みはぜひ今後の結果を知りたい。

30代～50代の社会参加をどう考えて行くか、自分たちもその世代の参加をどう取り込んでいけるかが活動のカギになると思っているので、今後の取り組みを聞いてみたい。

多年齢層への事業の組み立て参考になりました。子供の声や画像があっという間ですね。私たちも子供のいる風景が撮れるよう次期事業を組み立てていきたいと思えます。

卵の使い方がとても面白く素敵だと思った。利用者が支える側になるという実感が持てるのは、継続利用にもつながると思うので、わくわくした未来をみんなで作れるのが素敵だと思った。

住んでいる人が南阿蘇が好き、これがデータでしっかりあるというのが強みだと思う。

支える⇔支えられる仕組みがとても素晴らしい。

【NEXTSTEP】

●発表資料について

動画もわかりやすく説明もよかった。ただハードの維持管理とソフトのランディング費用をどのように工夫しているのか聞いてみたい。

動画は文字が入ることでも見やすかった。

動画に説明を加えるのであれば、BGMはないほうが聞き取りやすい。

今を支えるだけでなく、その先の未来を支える、そして自立させるという軸が見える、わかりやすい発表だった。

焚火の会に参加した人の声をもっと聞いてみたいと思った。

動画を通じてどのような成果があったのかあまりわからなかった。活動の内容はわかりやすかった。

動画で経緯がまとまっているとわかりやすい。楽しさが発表から伝え合ってくる。

音とのバランスが良かった。聞きやすい。具体例などあればいいかなと思った。

動画は1年の流れがわかりやすくまとまっていた。説明とスライドが連動していなかったので本番では一緒に進めてほしい。時間配分も。協力してほしいことが具体的でよかった。

●活動について

支援やコミュニティづくりの継続が大切だということにとっても共感した。焚火の会は平日やってますか？

焚火の会がとても魅力的。自然と集えて自然と語り合える場所(テーマとかなく)がいいと思う。「楽しいは大切！」自分たちの活動の中でも大切にしていきたい。

楽しむ・続けるは大切。来やすさ、変化を求められない、安心感って大切だと、自分も居場所をやってるので感じました。

意味づけいいですね。意味づけは個別支援、集団での支援、社会化(コミュニティ)の3層構造があるので、それぞれにやってみてはどうでしょう？

「楽しむことが大切」「定期開催」同感です。

事業の広がりを感じた。楽しいは大切、大いに共感した。

今までの経緯と本事業の接点で「未来へ向かう希望」という言葉に接点を充てていたのが印象的だった。「楽しいは大切」という「あり方」が見つかったことは大きな成果。焚火の会を分解して抽出された要素が出たことも事業の成果といえると思う。

みんな吐き出したい。その中で対面するでもなく話せる焚火の会はすごくいいと思う。

不登校支援や就労支援はいろんな地域で行われるべきことなのに、なかなか理解が得られず難しいことが多いことでしょう。ぜひほかの地域のモデルケースになってもらいたい。

一人一人に向き合う支援、長期的ビジョンを見据えた事業方針が心に響きました。

若者サポート、現在個人的にかかわっていて動きが取れなくて困っています。ぜひつながって相談したい。「焚火の会」の取り組みできそう。思いが自然体でわかりやすかった。

不登校ではないが発達障害の子を持つ友人がおり、高校進学のことでも悩んでいる。子どもだけでなく親にもこんなサポートをしてくれる団体があるのだと知ってもらいたい。

【フミダス】

●発表について

分析データがわかりやすかった。

スライドは図解、説明が明確で理解を促進し、動画は人や企業(社員)の姿が中心で雰囲気伝わり、右脳と左脳両方に伝わるものだと感心した。語りの補足も効果的。大きな視点(産官学が寄ってたかって)からの評価コメントスライドがあるとひろく成果を感じられるかと。

活動の意義、何をやっているのか初見でもとても分かりやすかった。パワポが見やすい。

動画に何の写真かわかるようにテロップが欲しかった。発表全体としてわかりやすく好感が持てた。

発表の構成はわかりやすかったが、ポイントがつかみにくかった。

スライドの黄色い文字は後方からは見えづらい。

動画に何をしているかテロップや、アンケートの意見などを入れたら伝わりやすくなるかも。動画はもう少し短くてもいいかも。

動画は高校生の真剣な目が印象的だった。

動画にテキストがあればわかりやすいと思う。パワポは字が小さく感じた。最後の説明部分、参加の説明をスライドにするとわかりやすいと思った。

事業の取り組み、内容、参加者の評価、反応がわかりやすくまとめられていた。

資料の見出し、レイアウトはわかりやすいが文字が小さくわかりづらい。動画の音量が大きくアナウンスが聞こえづらかったのはもったいなかった。

はっきりした言葉づかいで発表が聞きやすかった。動画も感動的だった。

●活動について

その地域での雇用を増やす取り組みが必要かと思います。

子どもたちの関わり、キャリアを考える機会の在り方が成果に表れていて素晴らしい。

住宅メーカーは人材が必要なのでは？よかボス企業やSDG's企業へのアプローチはどうでしょうか？

学びの場は学校だけでは不十分という意見に賛成。インターンシップの受け入れ先として、農家や漁師、寺院なども検討されてはどうか？

事業のニーズをきちんと把握してあり手堅い事業だった。取り組みがニーズに応じた確に構成してあり大変参考になった。

錦町にある錦寿豊苑で「法人間連携プラットフォーム構築事業に取り組んでいるのでそこに参加されてはどうか？

人吉市内、福祉シンクタンクさくらの鳥飼先生とぜひつながってほしい。

人材という資源の活かし方、今後も楽しみです。

インターンシップ順調に進んでいるようで素晴らしい。学生の頑張っている姿や笑顔が見えるとやりがいにつながりますね。支援企業探し協力したいです。

若いころからインターンシップを機会に様々な仕事や価値観に触れる機会が必要だと思いました。

熊本全体で活動してほしい。こんな体験ができる生徒がうらやましい。

【せいしとらんし】

●発表について

イラストはもう少し大きめがわかりやすい

アンケート調査・分析のスライドは、特徴的な調査結果のグラフがよいのではと思った

1枚目のイラストのみの部分はキーワード等をいれてもよいかも

BGMの音量を下げたほうがよい

動画にナレーションが埋め込んであるのが素晴らしい。全体的に完成度が高く素晴らしかった。

●活動について

完成度が高く素晴らしい報告内容だった

性に関する知識が浅いが故のトラブル・事案が身の回りで後を絶たない。個人的に相談したいくらい。

資金面での悩みに共感する

子どもたちの興味を引き出させる取り組みが素晴らしい。

せいらんさんの活動は社会に絶対に必要。これからもぜひ連携したい。

南阿蘇ケアサービスさんでされた寸劇をぜひ見てみたい。主催者も巻き込むのはナイスアイデアだった。

資金面については、県下の産婦人科医と助産師の協力を得る。

【やっちょろ保健室】

●発表について

大きな観点でやっちょろ保健室の活動がもたらす価値(社会的意義)についても語っていただいても良いかと。

スライド1枚目はタイトルを入れられると何を話すのかわかりやすいかと…。

PowerPointのスライドのポイントが分かりづらいですので、テキストに色を入れるなどすればポイントがわかると思います。

住民の方のインタビューはテロップも入ると伝わりやすいと思います。

紹介動画の導入は全体像や背景がわかりやすく理解できた。シンプルに伝わる印象。

テレビ画面の動画はわかりやすいですね。ビデオの音声と重なると聞きづらいのもつたいないと思いました

YouTubeの紹介をもっと盛り込んだ方が良いかと思いました。

テレビ取材の動画があるのはいいですね！！街角保健室の事より、参加者の声を使って、最終発表したら良いかと思いました。

時間オーバーになりそうなので時間配分を調整された方がよいかもしれません。動画とスライドで内容が重なるところは工夫されてください。

●活動について

自治体の保健師との住み分けはどうしていますか？

看護の心のような団体の必要性を、多くの方が感じているのかと思います。

実際、水害があったからこそ、コミュニティーナースの必要性をより強く感じたと思います。

特に心の拠り所として「そこにいる」ことの意味が見出されていると感じました。

気軽に相談できる人と場所が地域にあると便利だと思います。続けていくことが重要だと感じます。

体を動かしたり頭を動かしたりの仕事掛けをいっぱい作って高齢者の皆さんが動きたくることが大事になりそうと思いました。

育成プログラムに興味があります。

「ささえびと」のグループとは？

支え人が活動される場。利用者が増えるといいなと感じた。

すごい活動ですね。地道な取り組みが一つ一つ形になっていかれているのがよく分かりました。

地域の方々に浸透していつていることが伝わりました。

組織作りについても良き方向に行くように課題を出し合い取り組まれている関係性が伝わりました。

組織運営面で、活動の話まで話し合いがうまく進まないと言われていた点は、とても共感しました。(私たちもそうなので…)うんうん悩んでビジョン共有しつつ活動を進めていく大変さが伝わると良いなと思いました。

企業のようにトップが指揮をとり、他の人がついていくと言うのではなく、私たちのような団体はみんなの認識や方向性を統一して運営していくのが難しいということがすごく同感です。

短期間に助成金のおかげで成果が現れているのがわかりました。

取り組みが具体的で良かった。確実に進んでいる。

コミュニティーナース、佐久病院の若槻先生らがされていた農村医療活動の中で、「うちの保健師」と言う本がありますが、その言葉を思い出しました。現場、現地、こそが大切なフィールドですね。貴重な活動だと思います。

インタビュー活動やアンケートなど、個別対応のモニタリングはとても大切だと思います。アセスメント→ケアプラン→実施→評価モニタリングとありますが、見えない作業ですが大切なプロセスです。

行政との連携が取れる活動をされているので、今後も楽しみだと感じます。

【縁側 moyai】

●発表について

文字が小さいので大きくしたほうがよい。細字フォントは見えにくい

写真が小さくて何の活動なのかわかりにくかった

3 スライド目の「樹」のイメージが伝わりやすかった

たくさんの取り組みを 4 スライド目にまとめたのが一貫性あって伝わりやすかった

ビジョン共有についてはスライドにももう少し入れたほうがよい

1 枚目には事業タイトルも入れたほうがよい

テキストが手書き風でよい

音量もちょうどよくアナウンスもよかった

どんな活動をしているのかわかりやすかった。子どもやママ達の表情がよくわかる内容だった

●活動について

子育てママ達でボランティアでここまでやっているのが素晴らしい

当事者だからこそ気づける・支援してあげられることが強みだと思う

ボランティアスタッフであるゆいまーるが疲弊してしまわないような、持続性のある組織作り

助成金に頼らない、資金調達の多様性と取り組みの連携が必要だと思う

集合研修で他の実行団体と意識的に、積極的につながり、視察やインタビューにつなげている行動力が素晴らしい

	<p>地域ごとに、また県外にもこうした拠点やコミュニティが増えていけばよいと思った</p> <p>【わらびかみ】</p> <p>●発表について</p> <p>かなりボリュームのある報告内容で、資料が詳しくてよかった。</p> <p>団体が頑張ってきたあゆみを感じることができた</p> <p>1枚目のスライドにはタイトルがあるとよいかもと思った</p> <p>文字が小さすぎて見えない。情報量が多く、もう少し絞ったほうが伝わると思う。</p> <p>スライドの中でも見せるところ、見る側の視線を向けさせる工夫がほしい</p> <p>報告時間がオーバーしているので調整を。</p> <p>動画は文字がもっと見えやすいとよい</p> <p>音楽がわらびかみさんの雰囲気とあっていてよかった。歌まであるなんてすごい</p> <p>動画は人の姿が見えてよかった</p> <p>動画に語りをつけるならば、BGMはなくてもよいかも</p> <p>●活動について</p> <p>木原さんの行動力・パワーに脱帽しました</p> <p>地域でのネットワークのつながりの様子がもう少しわかりやすいとよいと思う</p> <p>行政とのすみわけも大事な視点だと思った</p> <p>連携先との役割分担が明確になっているのが素晴らしい。</p> <p>中間支援組織が担う役割の大変さ。頑張ってもらいたい。</p>
<p>成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最終報告会発表資料「8分という時間の中での発表、動画も入れて」ということで、事前練習として各実行団体で作成・発表する企画。他の団体は、発表を見ながら気づいたことやアドバイスをするとする形をとった。 ・実際発表したり、他の団体の発表を見ることで、大きな気づきがある。発表内容・音量や声量、発表の役割分担など ・PO 河合さんから最後にフィードバックをお願いした。 発表の目的や対象、完了報告書にもつながる事業の目的・評価、今後の事業の方向性も見据えた上での資料作成や文字の量など ・事前に見合うことで、各実行団体の気づきが多くあり、ブラッシュアップができたようである。 ・作成する側の視点ではなく、聞いてもらいたい相手の視点でどう作成するか、動画を効果的に使うには？など河合さんからのアドバイスや他実行団体からの感想を参考に最終発表会を期待したい。

プレ報告会の様子

チェックイン



発表



フィードバック



メッセージ

